

魚津市ワーケーション 体験レポート

【1日目】

1.魚津駅到着(午後1時頃)

魚津駅到着、駅は「その街の顔」というもので、立ち寄ってみた。駅よりその線路エリアがとても広く、過去の繁栄を感じつつ現状の衰退も感じる、駅から山側を見ると正しく“坂の街”の印象です。



魚津駅



駅内の魚津グッズ売り場



駅前通り(山側)は“坂の街”

2.駅前の昼食(満更:まんざら)

駅周辺は、歩いて気になった魚料理「満更まんざら」入店。魚出汁と山菜の漬物がとても美味しかった。工夫している料理がその地方色を出しているし、それを感じた。思わず、ごはんお替り！！



満更:まんざら店舗前



自慢のランチ

魚出汁美味すぎ



漬物が地方色だ！

3. 魚津埋没林博物館と魚津水族館(午後2時30分到着)

魚津水族館では、いつも食する魚以外に見た事がない多数の魚が見れた。富山湾の深海という地域性！個人的には清水に住むというトミヨを見たのはマジで驚きだ。館前のシロチョウサメは水槽に入っているより大きく感じた、キャビアだあと口に出た！



清水の魚“トミヨ”が泳ぐ！



水槽の管理室(裏方さん)



館前にシロチョウサメが居る！

○魚津埋没林博物館は、洞杉という強靱な生命力や迫力を感じました。魚津市では山から海まで杉が生息していた。そして、自然をそのまま残すとは真のジオパークだあ！博物館のハイビジョンホール説明は良くできており、杉と蜃気楼を再認識できた、ここに寄る際はぜひ観てほしい！（時間が余ったから入館）
○蜃気楼は自然の光と風が織り出す偶然性、稀な自然美。蜃気楼ロードは海辺に面して気持ちがいい。



海底の杉を保存



喫茶の片隅に洞杉(迫力)



蜃気楼ロード(海岸線)

4. 片貝来られハウス(10/28と10/29を宿泊)

○片貝来られハウスまでの道路は山村部なので夜間は暗いが、ほとんど消融雪パイプが整備されているので、降雪時に助かるなあと感じた。それだけ水を重宝に使える地区なんだろう。

ここは、移住体験家屋であり、手ぶらで宿泊が出来るよう家財道具が揃っていて便利でした。



片貝来られハウス(正面)



揃っている家財道具



団体でも宿泊可能な食器類



荷下ろし(車移動)



居間がベースキャンプ



自炊がベース(晩酌は必要)



防災意識高。
※ハウス前看
「急斜面地崩壊
危険区域」



消融雪パイプ整備
斜面道に有難い。

【2日目】

5. ロードサイクル(片貝ハウス午前 6:30 出発、2日間の日課:蜷気楼ロード疾走)

○魚津市は坂の町。片貝から海までロードバイクで 20 分程度到着、そのあと蜷気楼ロードを疾走するが金曜日朝の通勤車が多く、遠慮しながらの走行でした。特に、このロードはスノーポールが路肩に設置しており通常路肩を走行する私には大変危険、海の雄大な眺めとは裏腹である。



ロードサイクル出発(防寒要)

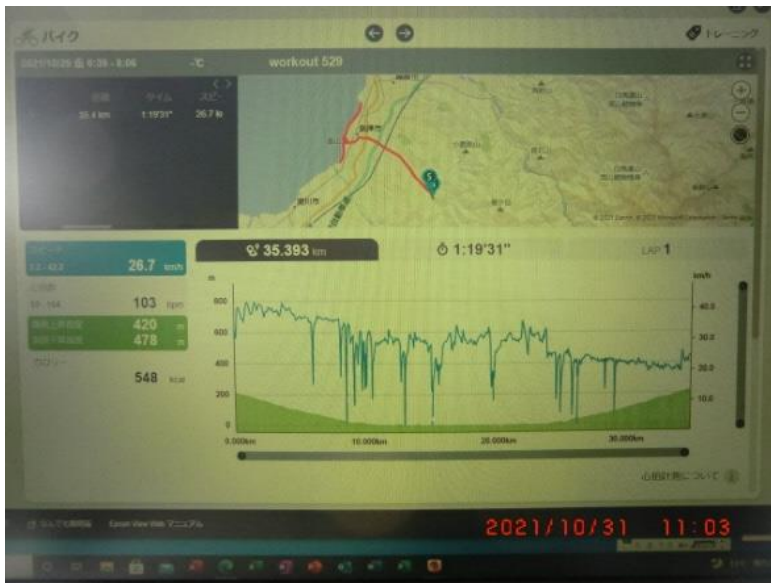


62歳のオッサン



漁港前、路肩なし、ポールが危険

下図のロードサイクルマップを参照(サイクルウォッチより)



折れ線は速度、下部の緑図は高低m単位を示している。

片貝ハウス出発後は、下り(40km/h弱)、その後市街地を通り蜷気楼ロード(平坦部)、そして同じ道をひたすら上る(22km/h)というコースでした。

年齢的にしんどく、最後の5kmの片貝地区の上りがきつかった。路肩が狭い道を走行するには、ロードサイクルコースとしては気を使う必要がある。

6, 杉が有名だけど?(午前8:30片貝ハウスに到着、朝食)

○洞杉で有名なのは分かるが個人的にはスギ花粉症ではないので杉を見ても何も感じないが花粉症の方は杉を見ただけで拒否反応を起こす。この地は花粉症には近寄れないかもです。



ハウス横に杉、触ると杉花粉が飛散

片貝川を挟んで対岸は紅葉!

朝食(自炊)

自前の炊飯器を持込む

7, テレワーク(午前10:00開始、片貝ハウスの居間がベースキャンプ:3日間同じ場所)

○テレワークをし出すと、思いの外ワーク時間を要した。パソコンとWiFiとの相性が悪く通常より入力・閲覧に時間を要した。屋内ならWiFiでなく、LANケーブル接続が良かったもです。

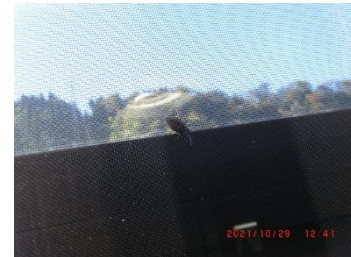
○片貝の食事はもっぱら、買出し→自炊(朝食&晩食)からコンパクトに時間を消費した。外食となると移動時間や晩酌に制約が出るので問題である。



ルータや無線LAN



WiFi設定完了、テレワーク開始



カメムシ参上

8, 洞杉と片貝山ノ守キャンプ場(午後1時片貝ハウス出発、貝山岳散策)

○片貝川上流部の洞杉群までは車移動となったが、最後の2.5km徒歩は途中で挫折した。しかし、紅葉がベストタイミング、気持ちのいい日。三ヶ村より上流に住居無い事が希少な清水を生み出している。



看板から2.5km杉の聖地へ



駐車所にバイオトイレ(助かる)



紅葉です、今でしょう!

○片貝山ノ守キャンプ場は、人の手が最小限度に入っている感じで、キャンパーの自由度が出る場所。川へはスロープ方式なので子供達が一人で行ける、場周りの川巨石をそのまま並べただけで自然仕切り。



キャンプ上流の砂防堰堤
(3段堰堤は珍しい)



橋からみた清流！



自然すぎるキャンプ場

9, 水環境遺産と温泉ざんまい(午後 2 時 30 分到着)

○魚津市水環境遺産である「東山円筒水槽」は満更店長お勧めのスポットなので行ったが、川水が自然円筒で水利権を分けている事に感動、何よりバックに富山湾の海が見える風景はここだけの感があった。

○金太郎温泉は気分転換で行くとした。立派な本館に到着したが、日帰り温泉は隣のカナルの館でした、早速入湯、3時間の憩いでした、岩風呂の巨石が立派だった。



東山円筒水槽(遠くに富山湾、能登半島)



本館です



日帰りのカナルの館

【3日目】

10, 片貝小学校(毛勝の郷シェルピース) (午前 11 時過ぎから弁当買い出し、ランチタイム)

○流石に、自炊も飽きたのでお弁当とした、場所は片貝小学構内で食する。幼稚園も一緒と地区のコミュニケーションセンターのようだ。当日は選挙準備があり、弁当は外でゆっくりととった。



子供の遊び場



10/31 選挙準備中



これが片貝川だね！

11, 片貝小学校周辺散策(午後 1 時 30 分頃)

○片貝下流部にある島尻地区等を散策すると、企業や富山労災病院、新川高校など集中する生活圏であり、(片貝小学校より6km下流)普通に生活できるようだった。



富山労災病院(新築風)



地元企業(北陸精機(株))

12, その他

○住居である片貝来られハウスについて

- ・基本的に自炊できる台所、食器があり不便はないが、ベースは買出しが必要。家財がついているログハウスの感じかもです。ハウスが広いので、使う場所を限定した方が掃除するのに楽である。
- ・鍵が簡単に閉まるが、開けるのに何十回かのトライが必要でした、修理されたい。
- ・お風呂は追い炊きできない、熱めのお湯を投入するタイプです。
- ・最初はドキッとしますが廊下の足元灯が点くのは夜でも安心できる。
- ・WiFi方式とルータに直接出来るLANケーブルがあった方がよい。PCとの相性があるので、選択肢を増やすか、ユーザで事前用意が必要です。
- ・怖がり屋なので、押入れや棚の中を見てしまう(空欄でよい)中で、写真があったのは不気味であった。とにかく空っぽでよい!
- ・個人的にはカメムシやゴキブリ、杉花粉に鈍感なので村暮らしは神経質にならないので安心です。

○総括

片貝来られハウス周辺の移住者を増やす施策は止めてほしい。特にこのハウスより上流部は魚津 IC から10km 程度と移動距離が短い。人が住んでいない、人手がかかっていない極上の自然遺産と思ってよい。水や樹木、巨石に至っても将来に是非残してほしい遺産です。

片貝小学校から下流部に住居を集中する街づくりにして欲しい、週末にこの自然を満喫してもらおう事がこのモニターで感じた事でした。

以上

「片貝レガシーの象徴」



ワーケーション参加者へのアドバイス

- ・WiFi方式とルータに直接出来るLANケーブルがあった方が良い。PCとの相性があるので、選択肢を増やすか、ユーザで事前用意が必要です。
- ・片貝ハウスにテレワークで缶詰となると、継続は難しいです。ハウスがもっとオープン出来るような造りが必要です。雪囲いにより窓からの遮蔽は好ましくない。



ワーケーション施策に関するフィードバック

- ・地域活性化・地域資源の活用につながる提案も記載願います。

この片貝来られハウスは、基本コンセプトが模擬移住体験所であるという事です。そう考えれば、家財がついているログハウスのな感じで体験した方が良い、言わば夏休みなどの家族が長期滞在所として提供する広報がよろしい。

ワーケーションとしての環境提供なら、片貝エリアは静寂すぎるし、まずは食事に関しては不便である。出来れば、蜷気楼ロード付近(P2 上段右端写真)の空き家を手入れた建物。気分転換としては素晴らしい環境である。片貝エリアがダメと言っている訳ではない。その場所のストロングポイントを認識したほうがいい。



魚津埋没林博物館の喫茶



片貝山ノ守キャンプ場

担当より:片貝地区及び利用施設につきまして、詳細にレポートいただきありがとうございます。ご提案いただいた内容は、管理運営団体とも情報共有し、改善に努め、多くの方に利用いただけるように情報発信して参ります。